

～「ここすき！」学びの記録～ 「勇気」を支える「信頼感」と「責任感」

* 大型積木の枠の中で遊ぶQさんに先生が近づいていきました・・・。



1) 先生は、人形を渡します。
「この子を連れて、お散歩に行かない？」



2) 「どうしようかな・・・」という表情のQさん。



3) 先生が立ち上がると、Qさんも立ち上がり・・・



4) 勇気を出して、大型積木の枠を越えました。

1歳・2歳は「自分」を大きく育てていく時期です。友だちとのモノのやり取りはまだ難しい時期ですから、まずは一人一人が自分のやりたい遊びを思いきり楽しむことで自分の力に自信をもてるようになることを大切にしたい時期であり、「ここすき！」でもそのような環境構成を行なっています。

そうするなかで友だちの遊ぶ姿を見て、「自分もやってみたい！」と思ったり、同じ場で同じような遊びをしながら、「いっしょにやると楽しいな」と感じたり、「友だちと笑い合ったこと」による喜びを感じたり、そういう経験こそが1～2歳児らしい「社会性」が育つための土台になります。

Qさんは素晴らしい集中力や几帳面さを発揮して丁寧な秩序を創造できる力があります。そんな素晴らしい力をもったQさんでも、大型積木の囲いの外に踏み出していくことは、安定した世界の外に一步踏み出すことでもあり、勇気が必要だったでしょう。

その一步の「勇気」を支えたのは、先生への「信頼感」と、人形に旅をさせてあげたいという「責任感」だったのではないのでしょうか。

2歳になったばかりのQさんの中に、誰かのためになら、自分の限界も超えられる、そういう確かな力が育っていることがうかがえます。